科目名 (Eng)	製品開発論(Research and Development of Product)								
担当教員	坪井晋也　　松本行真								
対象学年等	学科・専攻	学年	授業期間	区分	単位数	時間数	分野	形態	学修単位科目
	機械・電気システム工学専攻	2	後期	必修	2	30	専門	A	○
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応:(E-3), (E-4). 修了時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応:2),5) JABEE基準1(1)との対応:e.								
授業の概要と方針	企業の価値創造活動や持続的競争優位の確立という観点から、主として相互に関連性をもつ製品開発と、ブランド構築の戦略的意義等について検討する。								
到達目標	①製品開発に関する基礎的研究について理解する。 ②製品開発における基礎的事例研究について理解する。								

授業計画

	週	授業項目	理解すべき内容	事前学習
後期	16	イントロダクション	授業ガイダンス	
	17	製品・ブランド戦略と価値創造	売れ続ける仕組みづくり	前回授業復習
	18	新製品開発のマーケティング	新製品の成功率をあげる新製品開発	
	19	製品開発における顧客志向と顧客代行	コモディティ化を乗り越える製品開発	
	20	戦略的アライアンスと製品開発	複数の組織による共同開発	
	21	ブランド価値のデザイン	ブランドを基軸とした売れる仕組み	
	22	ブランド要素戦略	ブランド戦略の実践手段	
	23	サービスのブランド戦略	ブランドの構築	
	24	ブランドと経験価値	ブランド・デザイニング	
	25	地域におけるモノづくり戦略	地域を活性化させるモノづくりの考え方とその事例	
	26			
	27			
	28			
	29			
	30	報告会		

試験について	100分の後期期末試験を実施する。
評価方法	定期試験70%、課題等30%で総合的に評価する。
教科書	配布資料
参考書	必要に応じて指示する。
関連科目	生産管理論
履修上の注意	定期的に、課題レポートの提出を求める。自学自習の確認方法:授業の予習或いは復習などの課題プリントを配布し、定期的に提出を求める。